

平成24年度に樹立・策定する神奈川計画区の概要(案)

1 現行計画の概要



芦ノ湖と国有林

神奈川県



(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は神奈川県を包括し、相模原市、秦野市、山北町、箱根町、湯河原町に所在する国有林野10.1千haを対象。

イ 国有林の特徴

相模川及び酒匂川とその支流の源流部に位置する。そのほとんどは富士箱根伊豆国立公園をはじめ、丹沢大山国定公園、陣馬相模湖、丹沢大山、奥湯河原の各県立自然公園及び県指定の自然環境保全地域等に指定されている。

また、国有林野は首都東京に近く、箱根に代表されるように我が国固有数の温泉、渓谷、豊かな森林景観などに恵まれていることから、登山、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション等の保健休養の場として多くの人々に利用されている。

ウ 森林資源の状況

- ・人工林が4.5千ha、天然林が4.8千ha。
- ・人工林（面積割合）は主にスギ15%、ヒノキ55%。
21年生～40年生が25%、41年生～60年生が25%と間伐期を迎えている一方、高齢級の森林も多い。
- ・天然林は、低標高地ではシイ、カシなどの暖温帯性の樹種が生育し、標高が上がるとブナ、ミズナラ等も見られる。

エ 機能類型別面積

水土保持林が4.1千ha、森林と人との共生林が4.8千ha、資源の循環利用林が1.2千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

保護林	2箇所	2,187 ha
緑の回廊	1箇所	2,994 ha

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	1,278 ha
自然観察教育林	1箇所	66 ha
森林ｽﾎﾟｰﾂ林	箇所	ha
野外ｽﾎﾟｰﾂ地域	箇所	ha
風景林	2箇所	481 ha
風致探勝林	箇所	ha
その他	箇所	ha



高性能林業機械による森林整備

ウ 国民参加の森づくり

西暦2000年の森	469 ha
ボランティアの森	26 ha



水源かん養保安林

エ 伐採・保育事業量

主伐	22,911m ³
間伐	77,758m ³
造林	36ha
下刈	122ha
つる切	34ha
除伐	116ha

オ 林道の事業量

林道開設	路線	m
林道改良	27路線	2,100 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	17箇所
保安林整備	444 ha

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策をはじめ公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の取扱いに反映。
- (3) 希少野生生物の保護対策を推進。
- (4) ボランティア団体などが行う森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 「森林・林業再生プラン」を踏まえ、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業等の普及による間伐材の利用の推進。
- (7) ニホンジカ等の獣害対策。

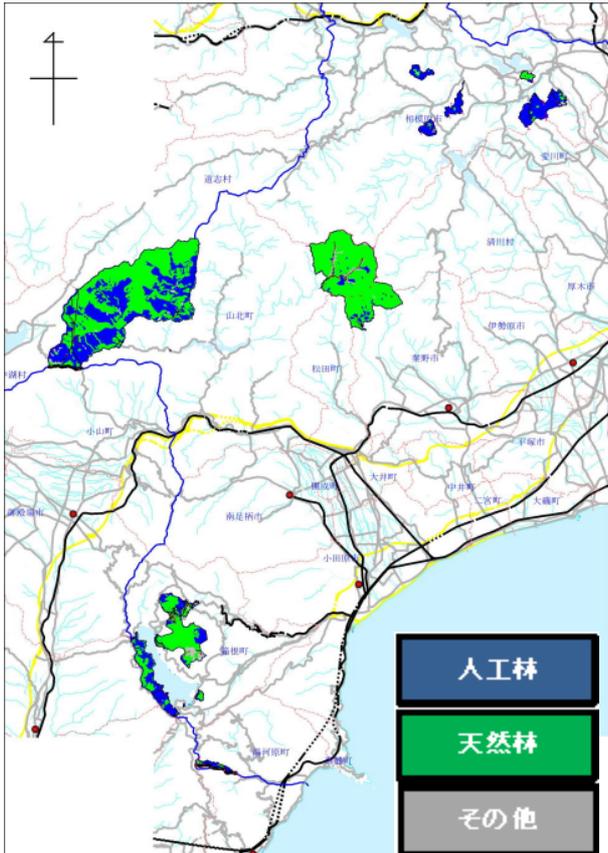
市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A (%)	国有林率 E=C/B (%)
小田原市	11,409	4,217		37	
相模原市	32,884	18,720	703	57	3.7
秦野市	10,361	5,354	648	52	12
南足柄市	7,693	5,179		67	
山北町	22,470	20,208	6,225	90	31
箱根町	9,282	6,841	1,416	74	21
湯河原町	4,099	3,036	85	74	2.8
計	98,198	63,555	9,077	65	14

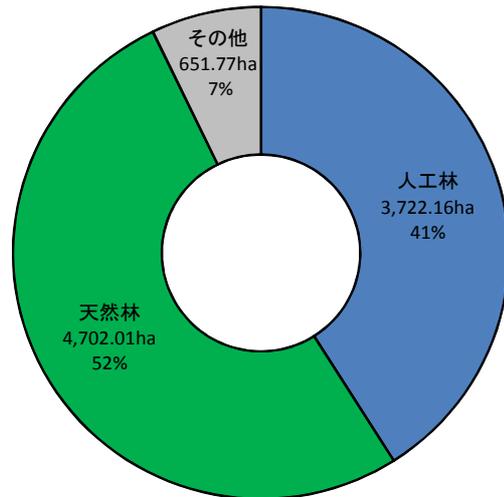
- 注) 1. 市町村面積は国土地理院公表値による。
2. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

人工林・天然林

人工林・天然林の分布状況

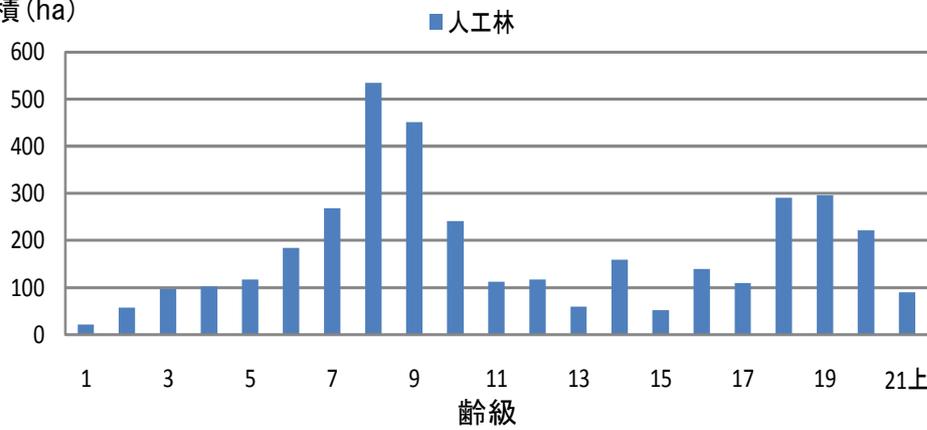


人工林・天然林別割合



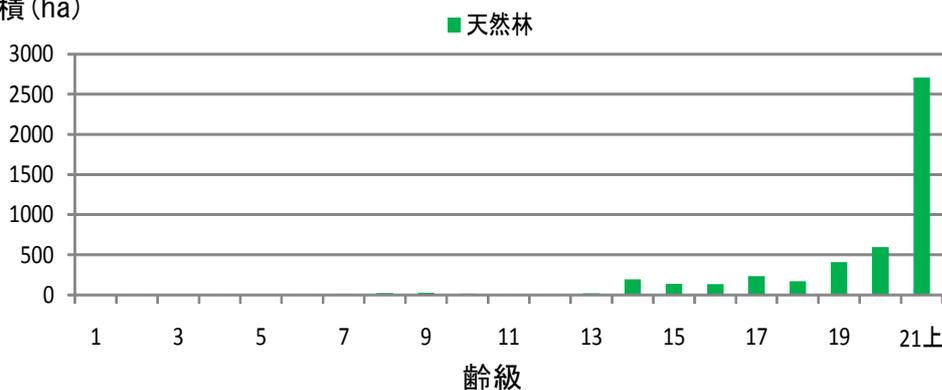
齢級別面積

面積 (ha)



人工林の齢級別では5齢級（21年生）～10齢級（50年生）が多く、間伐の対象となる森林が多い。一方、18齢級（86年生）以上の高齢級の人工林も多く保存されています。

面積 (ha)



天然林は、地域の森林生態系を構成する種として適切に保存します。

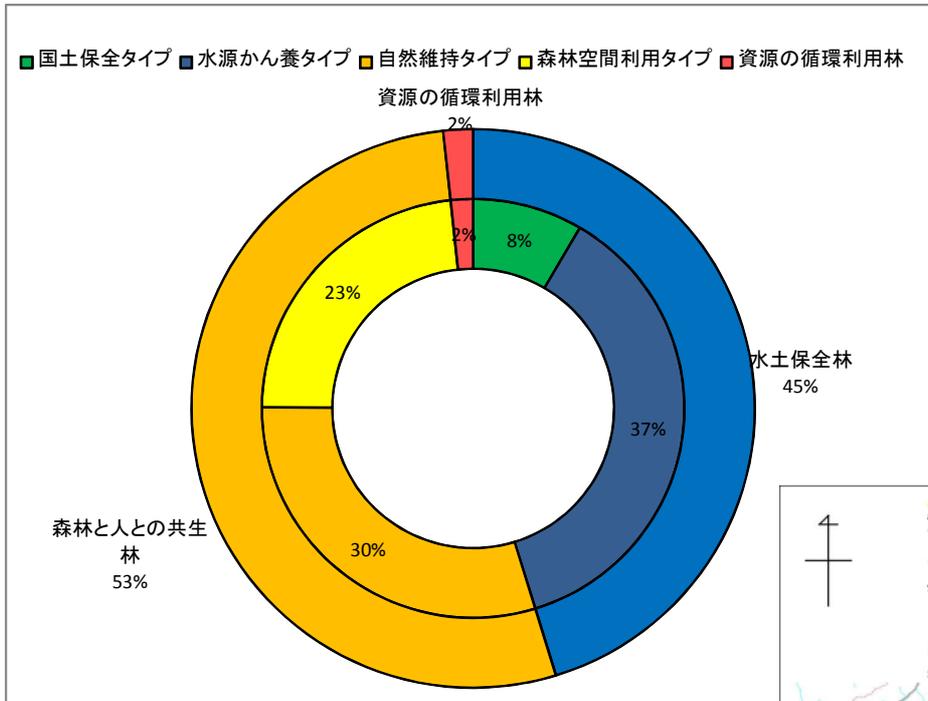
機能類型

機能類型区分について

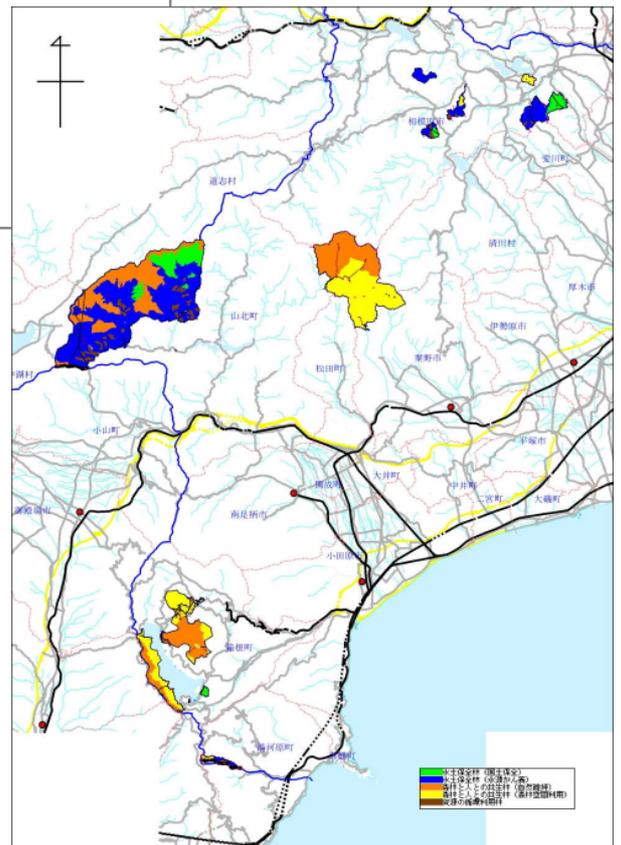
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

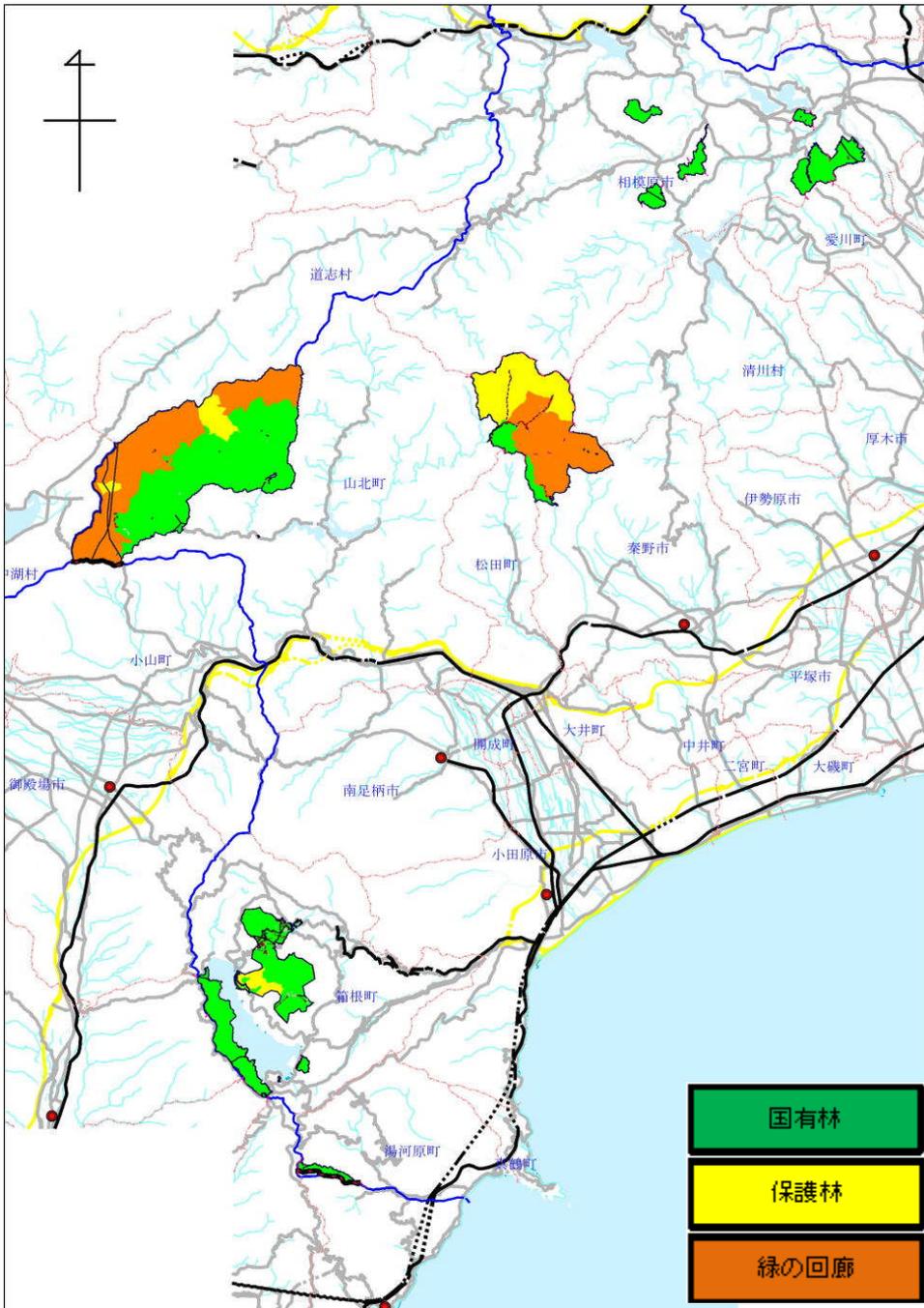
当計画区の機能類型は、水土保持林45%、（国土保全タイプ8%、水源かん養タイプ37%）、森林と人との共生林53%（自然維持タイプ30%、森林空間利用タイプ23%）、資源の循環利用林2%となっています。



- 水土保持林(国土保全タイプ)
- 水土保持林(水源かん養タイプ)
- 森林と人との共生林(自然維持タイプ)
- 森林と人との共生林(自然空間利用タイプ)
- 資源の循環利用林



保護林・緑の回廊



【森林生物遺伝資源保存林】
 森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に広範に保存する。

【植物群落保護林】
 我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落等の維持、学術研究等に資する。

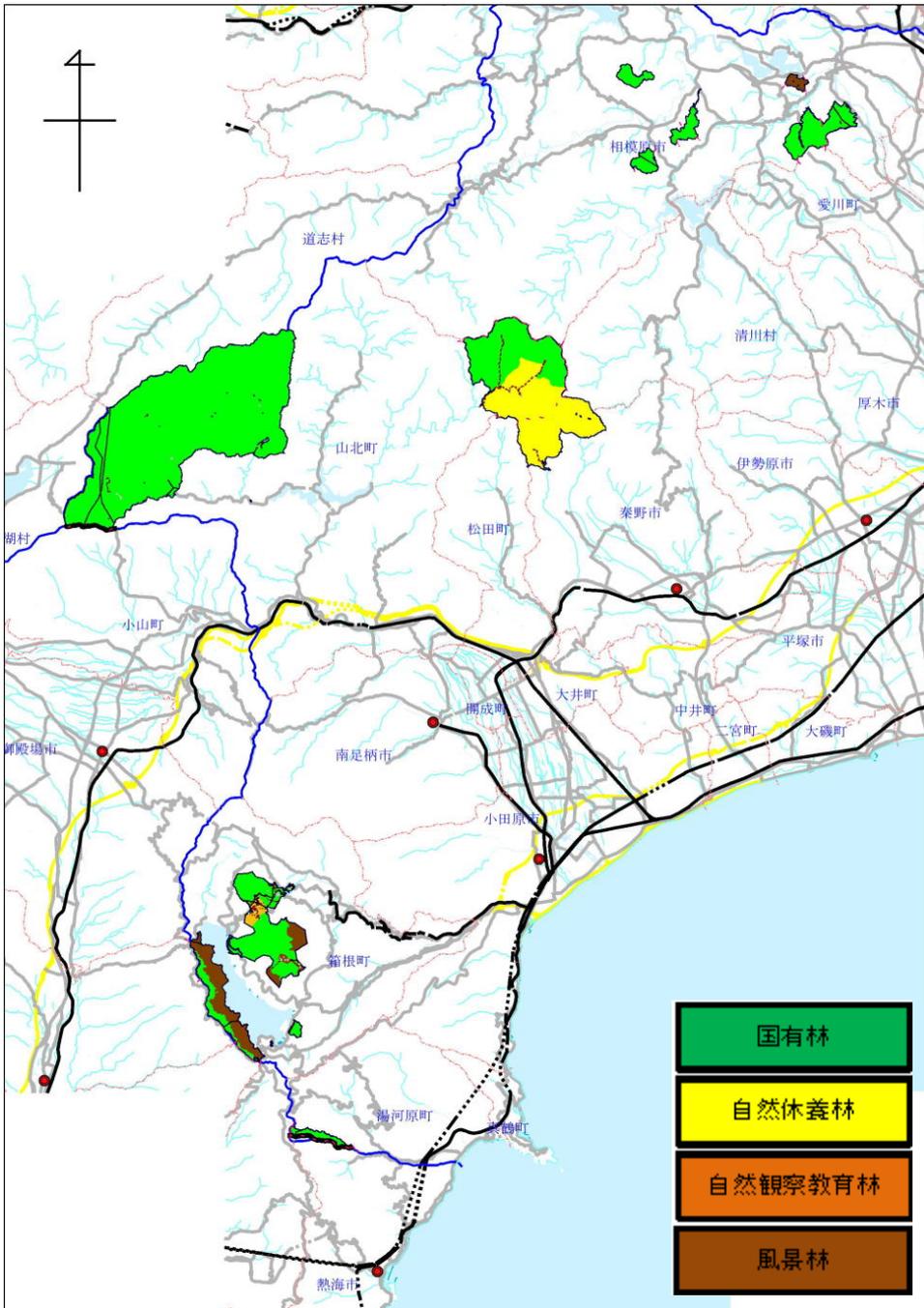
【緑の回廊】
 保護林と保護林を結ぶことで、野生動植物が移動し生活の場を広げ、より多様で充実した森林生態系の保全を図る。

保護林・緑の回廊	名称	面積 (ha)
森林生物遺伝資源保存林	丹沢山地	881
植物群落保護林	ヒメシャラ	122
	ハコネコメツツジ	28
	西丹沢モミ	50
	西丹沢ブナ	225
緑の回廊	丹沢緑の回廊	2,994



西丹沢ブナ植物群落保護林

レクリエーションの森概要



【自然休養林】
自然休養の場として利用しつつ、風致的な森林整備を図る森林の区域

【自然観察教育林】
当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し自然科学教育等に適した地域

【風景林】
レクリエーション利用上の近景林、遠景林としての風致の維持に配慮する必要がある地域



富士山の眺望をもつ自然休養林

レクリエーションの森	面積 (ha)
自然休養林	1,278
自然観察教育林	66
風景林	481

